

分せいがとう

2019 春号 令和元年6月発行



理 念

- 1. 常に医学・医療の知識と技術の研鑽に努め、心をこめて、患者一人一人 に最適の先進医療を行うよう努力します。
- 2. 患者・家族に対し、十分な説明をなし、医療法に関する選択の意向を尊重 し、明確な同意を得た上での医療を基本とします。
- 3. 地域密着型病院として、地域住民殊に高齢者・身体障害者の医療上のあら ゆる必要と要望に対応出来る地域基幹医療機関たるを目指します。

院長挨拶



平成26年私が院長に就任してからはや5年が過ぎました。年号も平成から令和へと変わり今後やってくる時代に期待と不安を抱えている人も多いと思います。ただ、間違いなく身近に迫っている問題は、何といっても少子高齢化社会の到来でしょう。医療と介護を必要とする高齢者の人口はますます増加することが

院長:定永 恒明

予想されます。

平成 29 年度簡易生命表によると日本人の平均寿命は女性が 87 歳、男性が 81 歳でした。約 50 年前の昭和 40 年には平均寿命が女性 73 歳、男性 68 歳であったのと比較するとその伸び率には目を見張るものがあります。90 歳まで生きる確率は女性 50%、男性 26%です。女性の 2 に 1 人、男性の 4 人に 1 人が 90 歳をこえる時代がやってきました。今後はさらに人生 100 年の時代がやってくるかもしれません。なぜ平均寿命はここまで延びたのでしょうか。第 1 の理由は、医療の進歩によって心疾患、脳血管疾患、がんなどの死亡率が下がったことです。経済発展や公衆衛生の普及、健康志向の高まりがこれを支えました。さらにヘルシーフードとされる日本食の効果も挙げられるでしょう。

しかし、問題点もあります。健康寿命、いわゆる介護(とくに寝たきり)を要しない寿命は、女性で75歳、男性で72歳です。単純に計算すると女性は12年間、男性は9年間誰かの世話になって生きていくことになります。最近、増加している認知症を考えるとこの期間はさらに長くなるのかもしれません。われわれ医療従事者は過去数十年間寿命をのばすことだけを念頭に診療を行ってきました。しかし、今後は健康寿命を延ばすことにも力をいれるべきでしょう。

さらに最近私は、健康寿命以外に'幸福寿命'を考えに入れなければと思うようになりました。残念ながら脳梗塞をわずらい寝たきりになったとしてもあたたかい家族の援助があれば、その患者さんはたとえ健康寿命は短かったとしても余生を幸せに生きていくことが可能かもしれません。この患者さんの幸福寿命は決して短いとはいえないでしょう。逆に'体'は、元気であっても一人暮らしの高齢者が生きがいを失い寂しい終末を迎えるとすれば、健康寿命は長くても幸福寿命は短いのではないでしょうか。

幸福寿命の延長にどれだけ医療機関がかかわっていけるかどうか定かでありません。聖ヶ塔病院では地域の皆さんとの交流を通して少しでも幸福寿命を延ばすために努力していきたいと考えています。一度きりの人生、最後まで楽しく過ごしていきたいものです。

地域住民の方々から '聖ヶ塔病院があってよかった'と喜んでいただけるよう なあたたかい病院をめざし、患者さん、家族の方々、さらには医療にかかわる すべてのスタッフが最後まで満足する医療を提供できる病院をつくり上げて いきたいと思います。



新任ドクター紹介





4月1日よりお世話になっております。津出和博といいます。津軽海峡の「津」に、日の出の「出」で「ツデ」と読みます。初対面の方は、「ツダ」あるいは「ツィデ」と読まれる方が多いです。内科の医師です。

私事になりますが、2018年1月の末に腰部脊柱管狭窄症に対し手術を受けました。約半年の自宅療養、そ

の後の非常勤での仕事の後、今回の聖ヶ塔病院入職となりました。

歩くのがリハビリのメインと言われているので、現在も運動公園のドームで歩いています。接地面が柔らかい、凹凸がない、雨、風、直射日光がしのげる、がドームで歩いている主な理由です。今は一周 450m のコースを 4 周して少し休憩の繰り返しです。同じ体制、運動、散歩、車の運転などは 20 分以内が原則とのことで、通勤時も途中にコンビニ等で休息を入れるようにしています。職場の朝のラジオ体操の時も勧められたストレッチをしています。

などなど少し不自由はありますが、皆様にいろいろ教えていただいたり、気遣っていただいたりしているおかげで、仕事ができていることに、喜びを感じている次第です。今後ともよろしくお願いします。

不利元年度 聖ケ塔病院 病院_日参

『患者・家族・職員が満足いく病院』

新任ドクター紹介





このたび、聖ケ塔病院に新しく赴任しました城です。 元来は外科の専門医で、消化器を主とし呼吸器、乳腺・内分泌、小児外科、外傷・救急等多方面に携わってきました。勤務していた施設によっては整形外科の骨折の手術を行う事もありました。術前・術後の管理を通して内科的疾患や、また救急外来等で

様々な疾患の加療に対応してきた経験を生かしていきたいと思います。当院では主に回復期・慢性期の患者さんが療養されていますが、少しでも病状回復の手助けができればと微力ながら取り組んでいきたいと思います。

私の趣味はマラソンで、熊本城マラソンを始め天草や人吉など県内のマラソ ン大会にも何度も参加していますが、今年は東京マラソンに参加しました。東 京マラソンは新宿都庁前を出発し、神田、日本橋を通り浅草寺・スカイツリー を眺めながら富岡八幡宮の辺りで折り返し、銀座の大通りを抜け品川方面へ向 かい増上寺・東京タワーの前を通って皇居前のゴールへと向かう、東京観光を しながら走るようなコースです。ほとんどアップダウンも無く平坦なコースで 走りやすく、沿道の応援も絶えず、走っていて楽しい大会です。地方枠がある ようで、九州等の地方からの応募の方が当選しやすいとも言われています。僕 も応募2回目で当選しました。興味がある人は一度参加してみてはいかがでし ょうか。かく言う私も以前より運動をしていたわけではなく、マラソンを始め てからまだ 7,8 年です。運動不足を感じていた頃に友人が始めたマラソンに誘 われた事がきっかけでした。子供の頃は短距離走は得意でしたが、自分が長距 離を走るなどとは考えた事もありませんでした。何事も始めるのに遅いという ことは無いので、散歩やジョギング程度から始めてみるのも良いかもしれませ ん。これからは高齢化社会で予防医学が重要と思われ、自分の体力と相談しな がら体を動かす習慣をつけることも重要だと思いますのでお勧めです。

療養環境の充実への取り組み

その人らしさを支えます

月~金 入浴支援に力を入れています

当院では、患者さんが一日も早く家庭復帰ができるよう環境を調整し、家庭的な雰囲気で患者さんに快適な入院生活を提供するための取り組みを行っております。

現在、特に病院として力を入れて取り組んでいるのが「**入浴支援**」です。原則月曜日~金曜日 まで毎日入浴できるようにしています。

また、自宅にいる時の生活を取り戻すため、 次のページに掲載していますように療養環境の充

実への取り組みを進めており、多職種がチームで頑張っています。 その結果、下記に示しました実績をあげております。

実績

在宅復帰率 72% ADL 向上・早期退院の達成 【実績評価指数 37 点以上。(平成 30 年度)

摂食嚥下認定看護師の指導の下、4 年間経管 栄養だった患者様が自分で食べられるように なりました。

本人の笑顔も増え、家族、職員も大喜び!

その他の療養環境の充実への取り組み

活動支援

回復期リハ病棟では、365 日 1 日 2 時間以上の リハビリを実施し、日常生活動作(ADL)の向 上に努めます。

早朝 ADL 向上・早期退院目的に入院時訪問指導(ご自宅での家屋環境の評価)を実施しています。入浴動作獲得のため、入浴時にリハビリテーションにおる評価訓練等も実施しています。その他の病棟では、心臓のリハビリテーションやがんリハビリテーションなども実施しています。



食事支援

経口摂取を目指して食事支援! 摂食機能療法実施しています!



服薬支援

高齢者にとって適正な薬物療法を目指し、また退院後に正しい服薬ができるよう服薬指導に取り組んでいます。



排泄支援

その人のタイミングでトイレへ オムツの方も多いですが、できるだけトイ レでの排泄を支援しています。





外来診療担当医表



		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	一般外来	橋本	定永	城	中村	加藤	
午			橋本	橋本	橋本	橋本	当直医
前	専門外来	米 村			米村	福原(精神科)	
		西日本病院 担当医 (整形外科)		山下 (熊大神経内科)		米村(神経内科)	
午後	一般外来	鏡	かむろ 禿	米村	高橋	中島	
通所リハ診察		鏡	濱崎	米村	加藤	中島	

ホームページあります!!!

詳しい情報が欲しい方は下のURLもしくは横のQRコードを み込んでください。

http://www.seigatoh-hp.jp/



【診療受付時間】

平日初診・再診 8時30分~17時 土曜 8時30分~12時

日•祝日 休診

【お問合せ】

TEL:096-276-1151

■発行■

医療法人財団 聖十字会

聖ヶ塔病院 広報委員会

〒861-5347

熊本県熊本市西区河内町船津897